中学社会歴史　開国と江戸幕府の滅亡

日本の開国.2

年　　組　　番

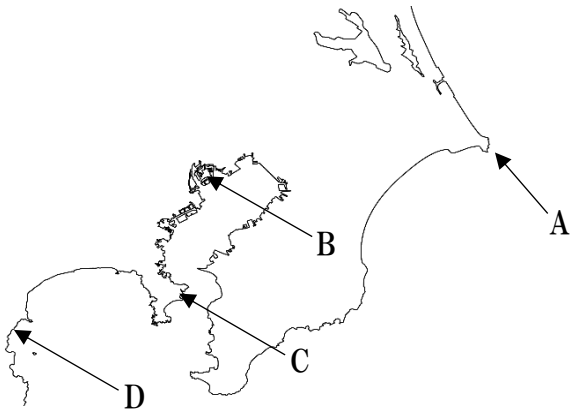
名前　　解答

解答

問1　1853年に、東インド艦隊司令長官のペリーは、開国を求めて来航した。以下の設問に答えよ。

(1) ペリーが来航した場所はどこか。地名を答えよ。　（ 浦賀 ）

(2) ペリーが来航した場所は下図のA～Dのどこか。　（ C ）



(3) ペリーが率いた4隻の軍艦は、その船体の色から何と呼ばれたか。（ 黒船 ）

(4) 開国を求めたペリーに対する幕府の対応は、雄藩や朝廷の発言権を強めることになった。これはなぜか。

（ 先例を破って、大名の意見を聞き、朝廷にも報告したから ）

問2　日米和親条約が結ばれたのは何年か。　（ 1854年 ）

問3　日米和親条約を結んだアメリカの代表（使節）は誰か。　（ ペリー ）

問4　日米和親条約によって開かれた日本の港を2つ答えよ。　（ 下田と函館 ）

問5　日米和親条約の内容として誤っているものは次のどれか。　（ (A) ）

(A) 択捉島と得撫島の間を国境とすることを定めた。

(B) アメリカ船に食料や石炭を供給することを認めた。

(C) アメリカの領事を下田に置くことを定めた。

問6　1855年にロシアと結んだ条約で、下田、函館、長崎の開港などを取り決めた条約は何か。

（ 日露和親条約 ）

問7　1858年に日本とアメリカとの間で結ばれた日米修好通商条約は、日本に不利な内容の不平等条約であった。これは、アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がなかったためである。領事裁判権とは何か。

（ 外国人が滞在国で犯罪などを犯した場合に、その国の法律ではなく、自国の法律によって裁かれる権利 ）

※このプリントは右の【ポテスクプリント】にて無料でダウンロードできます。

Potaschool Print ポテスクプリント